

第四次霧島市地球温暖化対策実行計画における令和7年度の実績結果について

本市は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、平成20年3月に第一次霧島市地球温暖化対策実行計画を、平成26年3月に第二次霧島市地球温暖化対策実行計画を、平成30年3月に第三次霧島市地球温暖化対策実行計画を、令和5年3月に第四次霧島市地球温暖化対策実行計画を策定し、市役所の事務・事業に関する地球温暖化対策に取り組んでまいりました。

この度、令和7年度における温室効果ガスの排出量及び実績結果等を取りまとめましたので、次のとおり公表します。

1 計画の概要

- (1) 基準年度 2013(平成25)年度
- (2) 計画の実施期間 2023(令和5)年度～2027(令和9)年度
- (3) 削減目標 2027(令和9)年度までに2013(平成25)年度比で温室効果ガス排出量を30%以上削減する。
- (4) 計画の範囲 本計画は、市が実施する事務事業すべてを対象とします。
市が保有する施設で運営・管理を外部に委託するものも対象とします。
- (5) 対象とする温室効果ガス
 - ア 二酸化炭素(CO₂)
 - イ メタン(CH₄)
 - ウ 一酸化二窒素(N₂O)
 - エ ハイドロフルオロカーボン(HFC)

2 2025(令和7)年度報告

- (1) 2025(令和7)年度温室効果ガス排出量

平成25年度排出量	42,714.8 t-CO ₂
令和7年度排出量	43,741.7 t-CO ₂
令和7年度削減量	△ 1,026.9 t-CO ₂ (△ 2.4 %)

○排出量算定の考え方

排出量については、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条第1項各号の規定に基づき、エネルギー使用量にエネルギーごとの排出係数を乗じて算出し、同法施行令第4条に規定する地球温暖化係数を用いて算定します。

また、排出量は、小数点第二位で表示しているため、削減量、削減割合等に誤差が生じる場合があります。

(2) 年度別数値と達成状況

年度別の温室効果ガス排出量及と排出削減割合について下の表と図に示します。

表1 年度別温室効果ガス排出量(第一次計画期間)

年度	基準年度 平成18年度	目標年度 平成24年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
排出量 [t-CO ₂]	44,630.7	41,952.0	44,595.2	44,023.1	43,984.7	42,230.1	41,841.5	42,714.8
排出削減量 [t-CO ₂]	-	2,677.8	35.5	607.6	646.0	2,400.6	2,789.2	1,915.8
排出削減割合 [%]	-	6.0	0.1	1.4	1.4	5.4	6.2	4.3
目標達成状況	-	-	-	-	-	-	-	未達成

表2 年度別温室効果ガス排出量(第二次計画期間)

年度	基準年度 平成18年度	目標年度 平成29年度	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
排出量 [t-CO ₂]	44,630.7	41,060.0	42,751.6	44,185.5	42,461.5	42,540.7
排出削減量 [t-CO ₂]	-	3,570.0	1,879.1	445.2	2,169.2	2,090.0
排出削減割合 [%]	-	8.0	4.2	1.0	4.9	4.7
目標達成状況	-	-	-	-	-	未達成

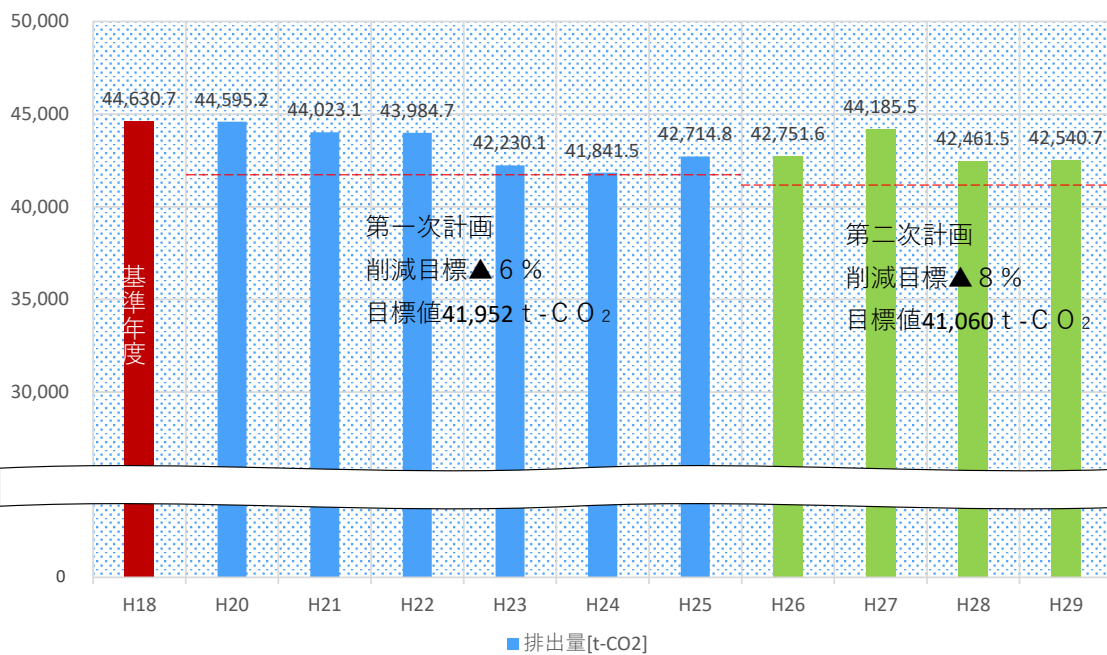
表3 年度別温室効果ガス排出量(第三次計画期間)

年度	基準年度 平成25年度	目標年度 令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
排出量 [t-CO ₂]	42,714.8	36,734.0	44,833.7	42,755.4	42,150.4	43,000.2	46,452.6
排出削減量 [t-CO ₂]	-	5,980.0	△ 2,118.9	△ 40.6	564.4	△ 285.4	△ 3,737.8
排出削減割合 [%]	-	14.0	△ 5.0	△ 0.1	1.3	△ 0.7	△ 8.8
目標達成状況	-	-	-	-	-	-	未達成

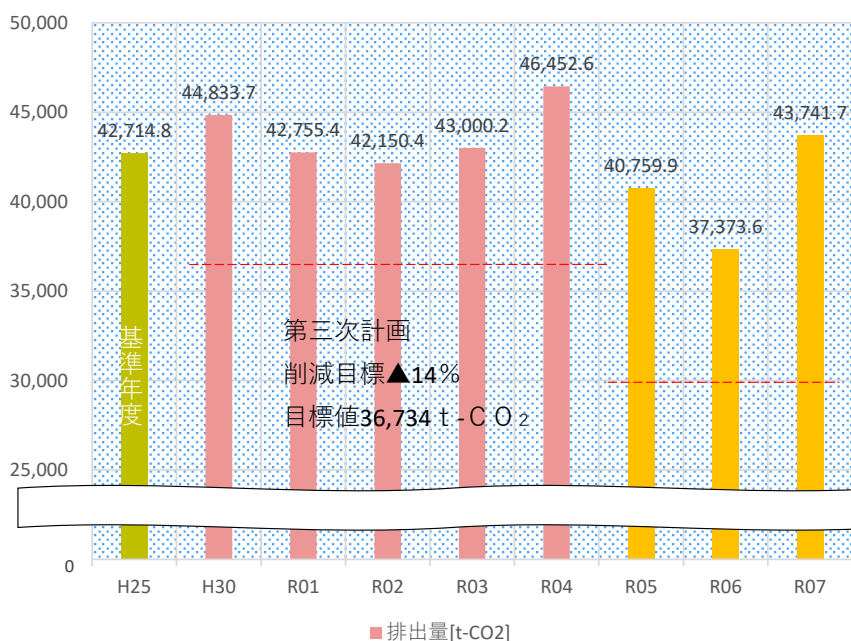
表4 年度別温室効果ガス排出量(第四次計画期間)

年度	基準年度 平成25年度	目標年度 令和9年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
排出量 [t-CO ₂]	42,714.8	29,899.9	40,759.9	37,373.6	43,741.7		
排出削減量 [t-CO ₂]	-	12,814.9	1,954.9	5,341.2	△ 1,026.9		
排出削減割合 [%]	-	30.0	4.6	12.5	△ 2.4		
目標達成状況	-	-	-	-	-		

温室効果ガス排出量の推移：第一次・第二次



温室効果ガス排出量の推移：第三次・第四次



第四次計画
削減目標▲30%
目標値29,899 t-CO₂

3 2025(令和7)年度温室効果ガス排出量増加の主な要因等

- 霧島市クリーンセンターの令和8年3月稼働に向けた試運転等で、敷根清掃センターと重複して稼働していた期間があり、電気使用量及び灯油の使用量が増加した。また、令和7年7月から敷根清掃センターの発電設備が故障し、使用不能となっていたことから電気使用量が大幅に増加し、温室効果ガス排出量の増加につながった。
- 霧島市立医師会医療センターの新病院が令和7年2月1日に開院し、外来患者や入院患者数が増加したため、施設での電気使用量及びA重油の使用量が大幅に増加し、温室効果ガス排出量の増加につながった。
- 全体の36.5%を占める上記2センターの電気使用量が増加したことに加え、主な契約先である九州電力の排出係数が上昇したため、電気の使用に伴う二酸化炭素排出量の増加につながった。
- なお、照明のLED化に取り組んだ施設については、概ね電気使用量の削減が図られた。